

大庶子分自治会

買物・医療外出支援サポート事例



実施日 2022年2月19日(土)

場 所 ひらつか市民活動センター会議室

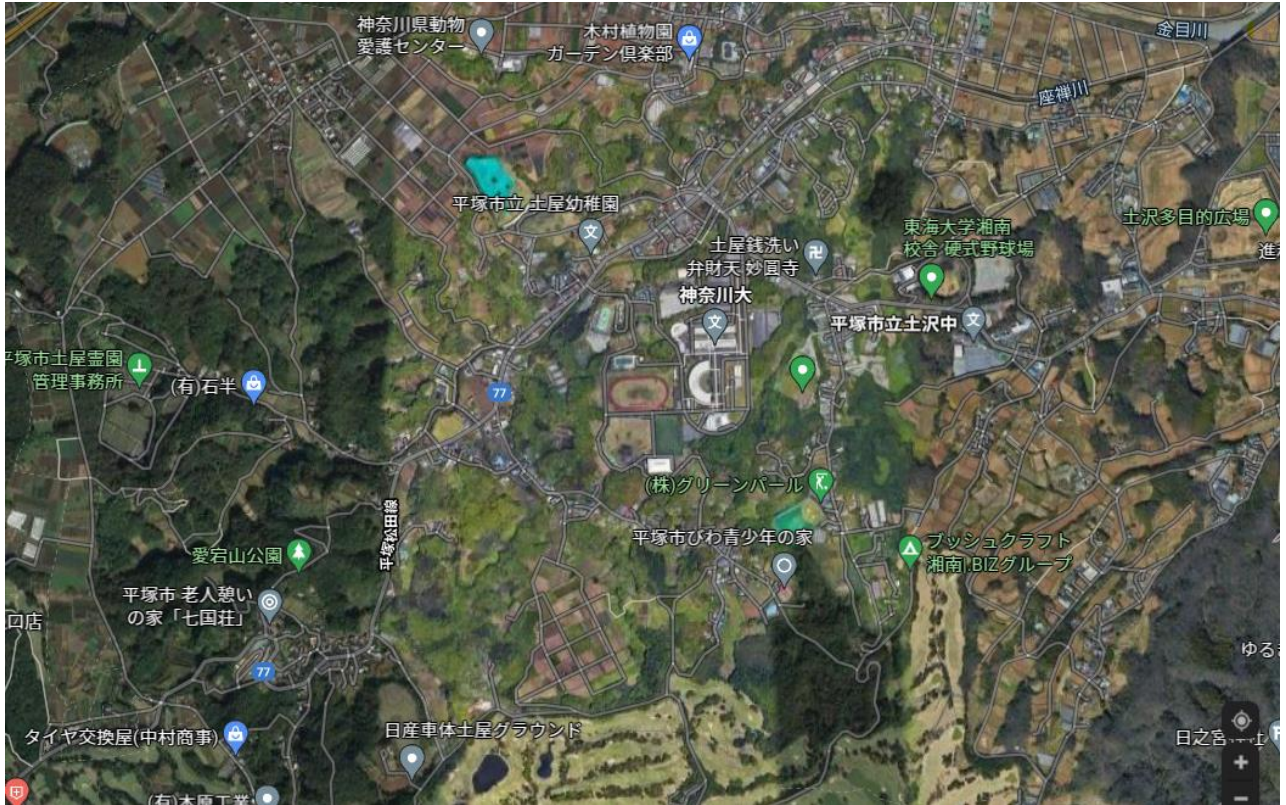
報告者 土屋大庶子分自治会長

瀬川健治

活動支援 平塚市福祉総務課、湘南NPOサポートセンター
社会福祉法人つちや社会福祉会

1.土屋・大庶子分自治会とは

上空から見た土屋(ゲーグルマップ)

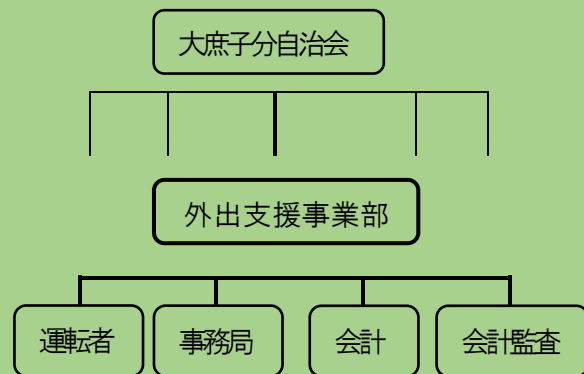


土屋地区生活圏環境

- 土屋人口 2,407 人(2021.1)
65 歳以上 41.2%/平塚市 28.3%
(人口の約 30%は大庶子分自治会)
- 市街化調整区域
- 医院 1 施設
- スーパーマーケット 無(セブンイレブン有)
- 神大キャンパス令和 5 年撤退
- バス便
小田急秦野駅(20 分~30 分)
JR 平塚駅(30 分~40 分)

大庶子分自治会

上庶子分、中庶子分、下庶子分、小熊、遠藤原



2.外出支援運用開始までの経緯と現況

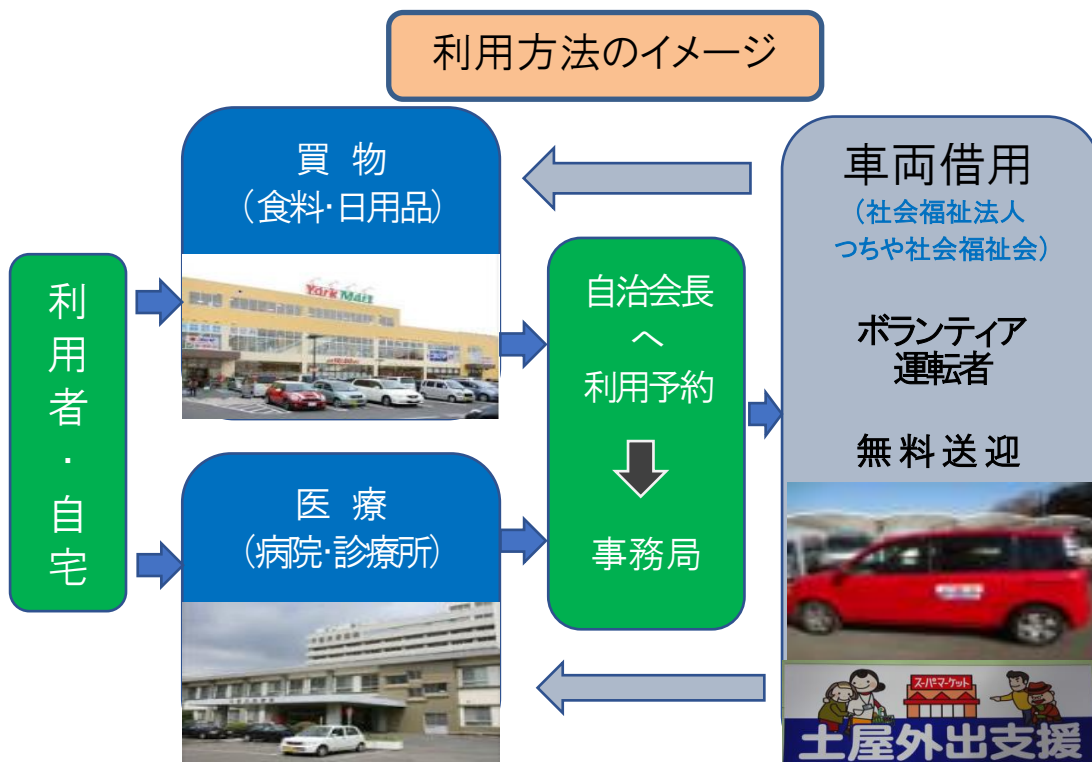
地域の声

- 車がなくバスを利用して買物に行くには、バス停まで遠く山坂があり体力的にきつい。また、バスを利用するにしても都合の良いバス便がなく困っている。
- 高齢化が進み自分で車を運転し買物や病院に行くには、車の運転に自信が持てなくなり免許を返上したいと考えている人が増えている。
- 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス移転に伴いバス減便が予測され、今後の生活に不安を抱いている。

運用開始までの経緯と現況

年 月	主な出来事と実施事項
2017年 4月	・神奈川大学湘南ひらつかキャンパス移転発表
2018年 4月	・土屋地区で高齢化に対応する移動手段を検討
10月	・土屋地区乗り合い交通実施に関するアンケート調査実施
2019年 11月	・ボランティア運転手、平塚市安全運転講習会受講
2020年 2月	・「須賀新田シニアクラブ」外出支援講演会聴講
4月	・自治会年度事業計画として「買物・医療外出支援」実施を決定 「自治会会則改定」、「外出支援規約制定」、利用者ニーズ把握
9月	・秦野市「とちくぼ買物クラブ」外出支援運用現地確認
9月	・ボランティア運転手、自家用車で「買物・医療外出支援」試行実施
12月	・送迎用車両を無償(社会福祉法人つちや社会福祉会)で確保
2021年 3月	・利用者に対する外出支援説明会実施
4月	・ボランティア運転手による外出支援運用開始
8月	・新型コロナ緊急事態宣言発令により一時中断、10月から再開
2022年 1月	・ボランティア運転手、平塚市安全運転講習会受講 ・次年度以降(2022年4月)も自治会運営で継続活動

3.買物・医療外出支援利用方法



買物・医療外出支援利用方法

利用可能な曜日と時間(土日は除く)

買い物
毎週水曜日(原則)
9:30～15:00

医療機関(通院)
利用者予約日に対応
9:30～15:00*

利用料金
無料で
ご利用いただけます

※医療機関は、診察終了時間が確定できないため往路のみです。

利用申し込み方法

利用者は、各自治会長に①利用希望日、
②利用時間、③買い物先又は医療機関名を
予約表又は電話で各自治会長に
予約してください。

予約は、利用する1カ月前から
3カ月先までできます。利用日の
キャンセルや変更も可能ですので、
事前に各自治会長にご連絡ください。


利用当日

- ボランティア運転手が、自宅または自宅付近に伺います。
- 買い物は、往復送迎します。医療機関は往路のみです。

利用申し込みは、各自治会長へ

4.運行基本情報・運行ルート

運行基本情報

項目	内容	項目	内容
運営 活動費用	・大庶子分自治会 ・自治会費で運営する	安全運行	・車両3面にステッカー貼付け ・行先別に標準運行ルート設定 ・運転手は平塚市安全運転講習会受講
利用者資格	・大庶子分自治会加入者	新型コロナ 対策	・運転手・利用者は体調自己チェック ・乗車時体温測定、手指消毒、マスク着用
利用料金	・無料で利用できる		
利用者	・8名		
運転手	・ボランティア運転手(自治会員) ・年齢制限 77歳以下 ・6名		
車両 車両保険	・つちや社会福祉会所有の2台 借用(車両・ガソリン代無償) ・つちや社会福祉会が掛けている保険		

運行ルート

主な運行ルート



〈主な買い物・医療機関〉

- ① ヨークマート北金目店
- ② しまむらストアー旭店
- ③ 岡村内科医院(北金目)
- ④ 北山整形外科(河内)
- ⑤ 平塚共済病院(追分)

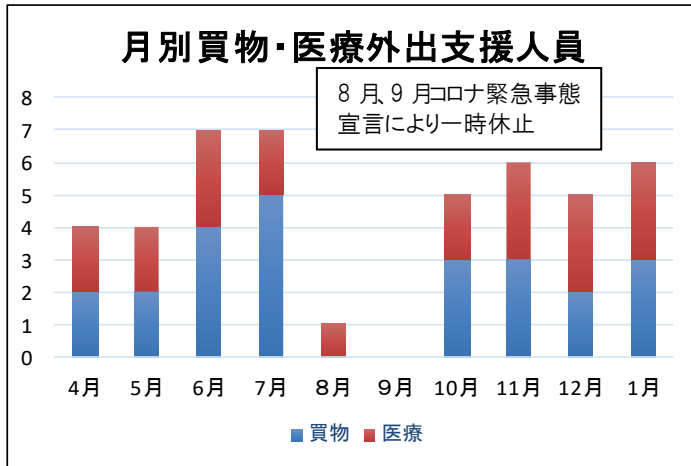
**私たちが
運転します!**

大庶子分自治会
ボランティア
運転手



5.買物・医療外出支援運行実績

運行実績(2021年4月～2022年1月)



実施月	人員/回数	延走行距離
4月	4人/4回	62(km)
5月	4/4	50
6月	7/6	86
7月	7/5	68
8月	1/1	10
9月	—	—
10月	5/4	67
11月	6/5	63
12月	5/4	62
1月	6/4	49
計	45/37	517

6.利用者・運転者の声・今後の課題

利用者の声



本数の少ないバス便を乗り継ぎ医院まで行っていたが、車で医院まで送ってもらいありがたい。特に雨の日は苦労しているので助かっています。



コロナ禍で、1人で家にこもり誰ともお話をしていない時間が多い中、定期的に地域の人に送迎を通じてお話ができるのが楽しみで感謝しています。



自宅から、通院している医院まで送っていただけるのでとても助かっています。

運転者の声



送迎をして、利用者から息子や孫に気兼ねなく利用できるのがうれしいとの声を聞けてうれしく思っています。

今後の課題

1. 自治会役員は任期になると交代する仕組みになっており、新しく役員になった方がこの外出支援サポートを理解し、長く続けられる活動にしたい。
2. 外出支援はボランティア運転手で成り立っているため、運転手の負担軽減のためにも、ボランティア運転手を増やしていく必要がある。
3. 2018年に実施した土屋地区乗り合い交通実施アンケート調査では、数十人が移動手段として利用を希望している。この活動が大庶子分自治会だけでなく、他の自治会にも繋がることを希望したい。